

原 研哉 Kenya Hara

この1月から日本デザインセンターの中に、「再デザイン研究室」というセクションが誕生した。入社10年目の小谷なわがまを聞き入れてもらって、デザイナー3人、コピーライター1人というスタッフ構成で始めた。平均年齢は27歳である。現在進行中のプロジェクトの中で、力が入っているのは「竹尾ペーパーワールド'92」のプロデュース。毎年、多くのクリエイターの方々の協力をいただいて、企画を進めてきた。今年のテーマは、「リ・デザイン」。モノを取り巻く環境や文化状況の変化によって、従来のデザインは新しいデザインへと変遷していく必要があるわけだが、今回は極めて日常的な視点から、リ・デザインの対象を30品ほど取り上げ、30人のデザイナーにリ・デザインをお願いしている。それぞれに真摯なリアクションをいただき、充実した展覧会への手応えを感じ始めている。オープニングは4月13日、六本木のアートフォーラムにて。ノグラフィックデザイナー

■■■■
Nippon Design Center's Hara Design Re-



search Section, established in January '91, is in the midst of planning the production of TAKEO PAPER WORLD '92, to open April 13 at the Reppongi Art Forum in Tokyo. With 'Re-Design' as its theme, the exhibit will consist of 'the art of re-designing the products of 30 designers', as they are made to reflect the changes of time, society and culture./Graphic Designer

ピエール・コレイユ Pierre COLLEU



グループインパクトデザインは自動車部品会社の会社で、その技術を様々なモジュールを備えた頑丈なシェルボディの製造に活かしている。これらを利用した住居では季節ごとに外気によって住居が変化し、快適な空間をつくりだせる。夏の暖色、外側のガラスパーテーションが開き、涼しさを空間に与え、住居の入口にはシェードが付けられる。冬には、外側のガラスパーテーションが閉じ、ソーラーシステムによる室内の保温効果が向上し、室内でのリラクゼーションに役立つ。屋内では換気システムも利用できる。また、屋内外はガラスパーテーションで区切られているため、出入りも容易で、床下暖房の機能も付いてい

る。これは様々な部品、材質とソーラーシステムの利用を講和させている新しい建築である。ノインダストリアルデザイナー

■■■■
The French group Impact Design is the developer of a modifiable, solar-powered, anti-earthquake building. The exterior consists of a self-supporting shell enclosing an inner layer insulated with polyurethane foam. The opening and closing of the exterior glass partition allows for the adjustment of light and heat. The curving softness of the material form is inspired in new design aesthetics./Industrial Designer



古川タク Taku Furukawa

突然ですが、和風のキャラクターが気になり始めています。子供の頃から見慣れていた、例えば七福神、天狗、福助から神楽の鶴、紅葉に至るまで、「あれは何だったのかな?」と自分に問いかけながら、なんとなくボクが再現してみたら、いったいどんな風になってしまうのか、ソボクな興味をもったわけです。とりあえず、京達の「風神・雷神」をフューチャーしてみました。暮れに松屋で催された「ニューイヤーズ・プレート展」に「風神と雷神との対話」というソーサーとコーヒーカップをつくりました。また、ボクのARTOON展に、「風神と雷神のアニメーション全扉画」をつくりました。これは一種のインス

タレーションものです。今は「津波の鯨」と題したアニメーションのTV・CM(15秒)をつくっているところです。ノイラストレーター

■■■■
Long-nosed Goblins and Gods of Good Fortune. Classic oriental characters are the interest of Furukawa as he reproduces such figures based on images of childhood memories. The photo is a golden folding screen titled 'Fudjin & Raidjin,' featuring animated figures of the Gods of Wind & Thunder. The artist is currently involved in the creation of an animated film for television./Illustrator

早川良雄 Yoshio Hayakawa

神戸沖の「ボートアイランド」に関して、御影の海に巨大な人工島「六甲アイランド」が現出して、今その街づくりが急ピッチで進められている。その中心にある高層建築のアトリウムに約50m×7mの陶壁をデザインした。未だ進行中の建築事情もあって、完成した壁面の内容を把握することができないのが残念だが、写真は、昨年夏、信楽の大塚オーミ陶業での下見風景である。ただ今制作中の仕事のひとつに、河内長野市に完成近い文化会館に設置される壁面陶画とタペストリーがある。この方は、1m20平方のキャンバス2枚をイーゼルに立て、「引き」のない暖い空間(これが泣きどころ)で意匠展開している。絵のあらかたのイメージはあっても、すべて

は本番キャンパスの上での試行錯誤で、デザインのようにシステマティックに選ばない。それでも、描いては消し、消しては描いて、意外な方向に展開するフローイングの面白さを楽しんでいる。ノグラフィックデザイナー

■■■■
The opening of the large artificial 'Rokko Island' has inspired the commencement of various projects and architectural constructions. The atrium of the central skyscraper will be decorated with a 50m x7m ceramic wall, currently being designed by Hayakawa at the Otzuka Oni ceramic factory in Shigaraki./Graphic Designer

